## 106　インターチェンジ接続道路の整備推進

**提出先　国土交通省**

**【提案項目】**

自動車専用道路の利用圏域の拡大を図るインターチェンジ接続道路の整備を推進するため、次の事業に確実な財源措置を講じること。

1　首都圏中央連絡自動車道ＩＣ関連
- 国道134号〔高浜台交差点以西〕
- 県道42号(藤沢座間厚木)
- (仮称)湘南台寒川線
- 都市計画道路　下今泉門沢橋線〔上郷立体〕
- 都市計画道路　横浜藤沢線
- 都市計画道路　湘南新道

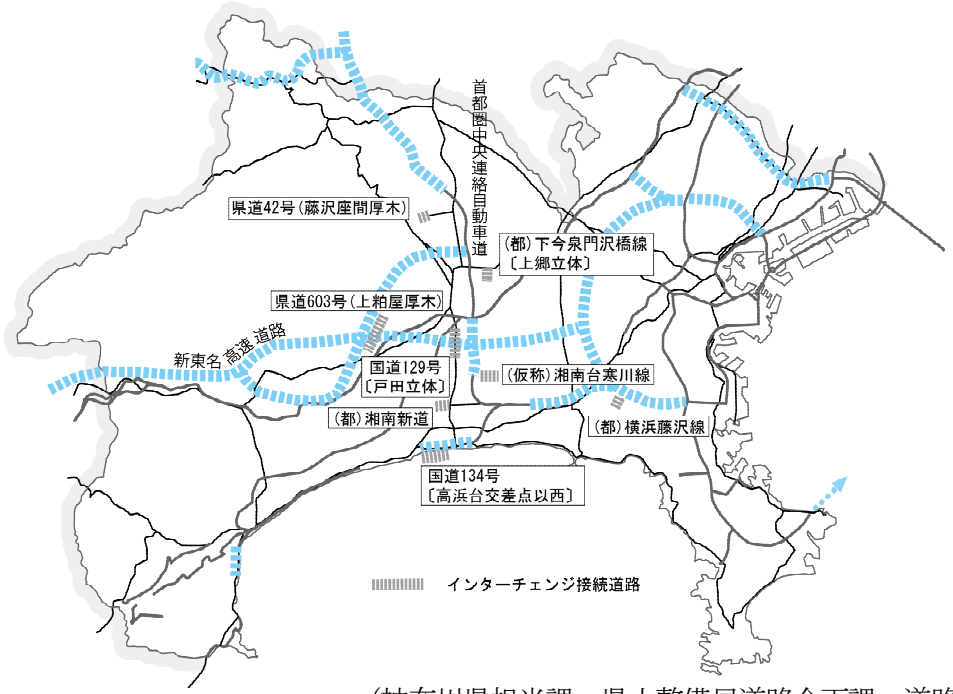
2　新東名高速道路ＩＣ関連
- 国道129号〔戸田立体〕
- 県道603号(上粕屋厚木)

**【提案理由等】**

市街化の進展が著しい本県では、主要な交差点を中心に、県内各地で深刻な交通渋滞が発生しており、渋滞による時間損失は全国でワースト３位となっている。そのため、快適な県民生活や円滑な企業活動が大きく阻害されるなど様々な弊害が生じている。

こうした問題を抜本的に改善するため、首都圏中央連絡自動車道や新東名高速道路など広域的な交通基盤の根幹となる自動車専用道路網の整備が進められているところである。

自動車専用道路の利用圏域を周辺地域へ拡大させるため、地域の経済活動を支える基盤整備として、社会資本整備交付金による重点的な支援により、インターチェンジ接続道路の整備を重点的に推進することが不可欠である。




(神奈川県担当課：県土整備局道路企画課、道路整備課)